



横浜市立城郷小学校
明治33年6月創立

学校だより

めざす子ども像

令和5年6月21日
7月号



ともに学び、よりよい生き方を見つけ出す しろさとっ子

◆学校だよりはホームページにも掲載されています。右のQRコードからもご覧になれます◆

時間の使い方

こうちょう さんべい あつし
校長 三瓶 淳

7時55分。登校して来る子どもたちの見守りをするために、校長室から外に出ると「あ！校長先生が来たよ〜。」と正門に並んでいる子どもたちの声ははっきりと聞こえて来ます。門を開けてくれる先生が来たということ友達に教えているのでしょね。校長室の外出入口と正門は、校庭を挟んで対面していますが、とりわけ朝は声の伝わり方がよく、よどみなくはっきりと届く気がしています。ひょっとしたら、子どもたちはこちらにまで声が届いていることなどは知らずに話しているのでしょうか、相手（子ども）から名前と呼ばれることは、とても気持ちがよいものです。特に今朝は、「校長先生、おはようございます！」と私を見据えて挨拶をしてくれた子がいました。頭も心もパッと目覚める素敵な瞬間でした。この気持ちを子どもたちに返していきたいと思います。

さて、6月10日は「時の記念日」でした。**時間を守る大切さ**を広めるために制定された記念日です。時間に関する名言は、数多くあります。「時は金なり（Time is Money）」や「光陰矢の如し」などの他に、「時間だけは、神様が平等に与えくださった。これをいかに有効に使うかは、その人の才覚であって、うまく利用した人がこの世の中の成功者なのだ。（本田宗一郎）」のように、**時間を有効**に活用できるかで、人生をも大きく左右するという名言もあります。

学校は、決められた時間で行動する場です。学級や学年などの集団が**時間を有効**に使っているかは、校外学習に出るとよく分かります。6年生は、5月下旬に、日光方面へ修学旅行に行ってきました。まず、予定された出発式の開始時刻には、参加者全員がそろっており、予定通りの時刻にバスは出発できました。しかし、都内の渋滞にはまってしまった上に運転手さんの勤務規則に沿った休憩時間の確保があり、昼食場所に到着した時は、予定より1時間以上も遅れていました。引率した職員が子どもたちに伝えたのは、「しおりを見て、次は何があるのか考えて行動しよう。」という事でした。そこから6年生は、**時間を意識**した行動をとり、どんどん巻き返していったのです。この時点では、全てが上手くいった訳ではなく、予定時刻になっても行動を起こすことができず遅れる子や班もありました。

ところが、2日目の朝からはどの班も「5分前行動」を取り始め、どの活動もピタッと予定通りに始められました。圧巻だったのが、外国人やたくさんの修学旅行生で溢れかえっていた日光東照宮を班行動で回り、五重の塔の集合場所に全員が予定通りに集まった事でした。数多く引率した私の経験上、2泊3日であれば、2日目の後半から3日目にかけて集団がより良い方向へ変化することは見てきましたが、1泊2日という短い時間でここまで集団の質が向上していく姿を見たのは初めてでした。5年生も6年生も、とても良い形で宿泊学習を終えることができ、集団の絆も深まったようです。

5月8日以降、校内はコロナ禍前のように、校外へまち探検に出かけたり、他校と交流したり、出前授業として外部講師を招いたりして、子どもたちの体験活動が増えています。さらに4年ぶりの水泳学習も始まりました。小学校時代の体験はとても貴重で、自分の視野を広めていくとともに、今後の人生の選択肢を増やしてくれます。**時間を大切に**するという意識も含め、「与えられた」体験活動から、「自ら選択して取り組む」体験活動に移って行って欲しいと願っています。